

ヘルシーパークに向けた新たな公園プログラムの提案 ～ボランティアの力を結集して～

近藤 洋介（淡路島国営明石海峡公園）

はじめに

国営明石海峡公園淡路地区（通称：淡路島国営明石海峡公園）は2002年にオープンし、約40haの広大な園内に四季折々の様々な植物や、淡路島の青い海と空が広がり、開放感のある景観を提供している。

昨今、公園を健康づくりの場として活用する「ヘルシーパーク」運動が盛んに行われており、県立公園においてはノルディックウォーキングやヨガ教室が開催され、健康プログラムを実施している。

本公園においては、ニュースポーツ体験やおもしろ自転車などのプログラムを実施しており、今後さらに多様な運動プログラムを展開していく必要がある。今回、公園ボランティア「海峡フレンズ」との連携によるヘルシーパークに向けた新たな公園プログラムの提案を行う。

「ヘルシーパーク」とは

1999年にオーストラリアのパークス・ヴィクトリアという公園で始まった運動で、公園利用を通じて人々を健康に導くことをコンセプトとしている。長年にわたり公園が蓄積してきた資源を、少子高齢化等の課題解決に向けて活用していく取り組みが世界中に広がっている。

「海峡フレンズ」とは

2005年に市民と協同を進めボランティア団体である淡路島国営明石海峡公園クラブ（愛称：海峡フレンズ）が設立された。設立当初から園芸福祉、公園ガイド、園芸活動、イベント企画を柱として活動を進めている。



●公園ガイドの様子



●園芸活動の様子

公園プログラムの提案

海峡フレンズの様々な活動やイベントを組み合わせ、子、親、祖父母の全世代が参加できるヘルシープログラムを提案する。園内の見ごろの植物の説明や環境学習を行う「公園ガイド」、園内の植物を活用してハンカチなどを染める「草木染イベント」、ラリーマップを見て園内の植物に関するクイズやゲームをクリアしてゴールを目指す「ファミリーラリー」、これらを組み合わせた複合的なプログラムとする。

「楽しくヘルシーに！公園エデュテインメント！」

プログラム内容

- ① 参加グループは、各自ラリーマップを見てクイズやゲームのクリアを目指す。すべてをクリアすると、「お楽しみイベント」を体験できる。



- ② ラリーの途中には、植物に詳しい公園ガイドが待機しており、運動の要素を取り入れた植物クイズやゲームなどが出題される。公園ガイドからはクイズのヒントや解説をしてもらい、環境学習の要素を取り入れる。

- ③ 全ての関門をクリアしたグループは、草木染め材料を入手し、草木染体験に参加でき、オリジナル染物が持ち帰れる。



※プログラムのポイント

- ・全世代と一緒に参加できるプログラムを目指すため、「ラリー」ではあるがタイムを競わない。ゆっくり自然を楽しみながら、軽いウォーキング程度のペースでラリーをしてもらう。
- ・全世代が楽しめる「お楽しみイベント」を用意する。